

空港毎のワーキンググループ設置状況

- 空港業務が直面する人材不足等の課題に対応していくため、空港ごとに、空港管理者、地方自治体、グラハン会社、保安検査会社、航空会社、空港ビル会社等の地域の関係者で構成されるWGの設置が進んでいる。
- こうした枠組等を契機として、関係者間の情報共有や連携した取組が少しずつ広がっている。

空港WG

空港管理者

(空港会社、空港事務所等)

グラハン会社 保安検査会社

給油会社 航空会社

空港ビル会社 地方公共団体 等

【空港WGを設置している空港(2023年10月時点)】※1…グラハンWGのみ ※2…保安WGのみ

国管理空港

東京国際空港	福岡空港
新千歳空港	北九州空港 ※1
釧路空港 ※2	長崎空港
函館空港	熊本空港 ※1
仙台空港	大分空港
新潟空港	宮崎空港
広島空港	鹿児島空港
高松空港	那覇空港 ※1
松山空港 ※1	
高知空港	

会社管理空港

成田国際空港
中部国際空港 ※1
関西国際空港

特定地方管理空港

旭川空港
帯広空港 ※1
秋田空港
山形空港 ※1
山口宇部空港

地方管理空港

女満別空港 ※2	出雲空港 ※1
青森空港	岡山空港 ※1
花巻空港	佐賀空港
大館能代空港※2	対馬空港 ※2
庄内空港	福江空港 ※2
福島空港	下地島空港
富山空港 ※1	新石垣空港 ※1
静岡空港	
鳥取空港	

共用飛行場

札幌飛行場 ※2
百里飛行場
小松飛行場 ※1
美保飛行場
徳島飛行場
岩国飛行場 ※1

合計 48空港